

建設協議会協議事項

〔 日時 令和元年7月19日(金)
午前10時
場所 第4委員会室 〕

○ 所管事項の報告について

- 1 平成30年度大気環境測定結果について
- 2 平成30年度ダイオキシン類調査結果について
- 3 八戸駅西地区賑わい創出イベントについて
- 4 八戸市危険ブロック塀等安全対策支援事業の概要について

平成30年度大気環境測定結果について

大気汚染防止法第22条に基づき、平成30年度の大気環境の常時監視を実施したため、その結果を報告する。

1 常時監視について

(1) 大気汚染の現況について（テレメータシステム）

一般環境大気測定局4局（八戸小学校・八戸気象観測所・根岸小学校・桔梗野小学校）、自動車排出ガス測定局1局（六日町）において測定を実施した。（資料－1）

環境基準が定められている物質のうち、光化学オキシダント（1地点）を除き環境基準を達成した。

なお、光化学オキシダントについては、昼間の1時間値の最高が0.092ppmと環境基準値の0.06ppmを超過した。（資料－2）

(2) 有害大気汚染物質モニタリング調査

八戸小学校1地点において測定を実施した。（資料－1）

環境基準が定められている4物質について、すべて環境基準を達成した。また、指針値が設定されている9物質について、すべて指針値を下回った。（資料－3）

2 大気環境中における重金属類調査（ニッケル化合物）

本調査は重金属類の大気中濃度を詳細に把握することを目的として、中核市移行後県から引き継ぎ、八戸小学校及び根岸小学校の2地点において測定を実施している。

（資料－1）

平成30年度は2地点とも指針値を下回った。（資料－3）

大気環境測定地点図



○二氧化硫黄に係る環境基準の達成状況（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	30年度1日 平均値の 2%除外値 (ppm)	短期的評価による 適(○)、否(×)					長期的評価による 適(○)、否(×)				
			H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
一般環境 大気測定局	八戸小学校	0.009	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	八戸気象観測所	0.004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	根岸小学校	0.009	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	桔梗野小学校	0.004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 1 短期的評価による適(○)は、すべての有効測定日(欠測が4時間以内であること。)において1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、すべての測定時間において1時間値が0.1ppm以下である場合。

2 長期的評価による適(○)は、1日平均値の上位2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しない場合。

○一酸化炭素に係る環境基準の達成状況（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	30年度1日 平均値の 2%除外値 (ppm)	短期的評価による 適(○)、否(×)					長期的評価による 適(○)、否(×)				
			H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
自動車排出 ガス測定局	六日町	0.600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 1 短期的評価による適(○)は、すべての有効測定日(欠測が4時間以内であること。)において1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下である場合。

2 長期的評価による適(○)は、1日平均値の上位2%除外値が10ppm以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しない場合。

○浮遊粒子状物質に係る環境基準の達成状況（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	30年度1日 平均値の 2%除外値 (mg/m ³)	短期的評価による 適(○)、否(×)					長期的評価による 適(○)、否(×)				
			H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
一般環境 大気測定局	八戸小学校	0.038	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	八戸気象観測所	0.036	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	根岸小学校	0.039	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	桔梗野小学校	0.037	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動車排出 ガス測定局	六日町	0.045	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 1 短期的評価による適(○)は、すべての有効測定日(欠測が4時間以内であること。)において1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、すべての測定時間において1時間値が0.20mg/m³以下である場合。

2 長期的評価による適(○)は、1日平均値の上位2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日以上連続しない場合。

○二酸化窒素に係る環境基準の達成状況（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	30年度1日 平均値の 98%値 (ppm)	環境基準の適(○)、否(×)				
			H26	H27	H28	H29	H30
一般環境 大気測定局	八戸小学校	0.018	○	○	○	○	○
	八戸気象観測所	0.016	○	○	○	○	○
	根岸小学校	0.016	○	○	○	○	○
	桔梗野小学校	0.011	○	○	○	○	○
自動車排出 ガス測定局	六日町	0.023	○	○	○	○	○

(注) 1 環境基準の適(○)は、1日平均値の年間98%値が0.06ppm以下である場合。

○光化学オキシダントに係る環境基準の達成状況（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	30年度昼間の1時間値の最高値 (ppm)	環境基準の適(○)、否(×)				
			H26	H27	H28	H29	H30
一般環境 大気測定局	八戸小学校	0.092	×	×	×	×	×

(注) 1 環境基準の適(○)は、1時間値の最高値が0.06ppm以下である場合。

2 「昼間」とは、5時から20時までの時間。

〈参考〉非メタン炭化水素濃度の年度別推移（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	項目/年度	測定値 (ppmC)					
			H26	H27	H28	H29	H30	
一般環境 大気測定局	八戸小学校	非メタン炭化水素 (年平均値)	6時～9時	○	○	○	○	○
自動車排出 ガス測定局	六日町	非メタン炭化水素 (年平均値)	6時～9時	○	○	○	○	○

(注) 1 環境省の指針として光化学オキシダントの生成に関係があるとされる非メタン炭化水素 (NMHC) について、午前6時から午前9時までの3時間の平均値0.20～0.31ppmCが示されている。

○微小粒子状物質に係る環境基準の達成状況（平成26年度～30年度）

測定局区分	測定局名	年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	短期基準に関する評価 による適(○)・否(×)					長期基準に関する評価 による適(○)・否(×)				
			H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
一般環境 大気測定局	根岸小学校	10.2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動車排出 ガス測定局	六日町	10.7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 1 短期基準に関する評価による適(○)は、測定結果の年間98パーセンタイル値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下である場合。

2 長期基準に関する評価による適(○)は、測定結果の1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下である場合。

平成30年度有害大気汚染物質モニタリング調査結果

調査対象物質	年平均値	環境基準	単位
ベンゼン	0.69	3以下	$\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	0.007	130以下	
テトラクロロエチレン	0.012	200以下	
ジクロロメタン	0.35	150以下	
アクリロニトリル	0.015	(2以下)	
塩化ビニルモノマー	0.004	(10以下)	
クロロホルム	0.13	(18以下)	
1,2-ジクロロエタン	0.080	(1.6以下)	
1,3-ブタジエン	0.072	(2.5以下)	
酸化エチレン	0.041	—	
アセトアルデヒド	1.4	—	
ホルムアルデヒド	1.9	—	
塩化メチル	1.4	—	
トルエン	1.8	—	
ベンゾ[a]ピレン	0.11	—	
ニッケル化合物	11	(25以下)	
ベリリウム及びその化合物	0.013	—	
マンガン及びその化合物	28	(140以下)	
クロム及びその化合物	20	—	
ヒ素及びその化合物	0.89	(6以下)	
水銀及びその化合物	1.6	(40以下)	

()内の数字は指針値

平成30年度 大気中重金属類調査結果

(単位: ng/m^3)

調査対象物質	根岸小学校	八戸小学校	指針値
ニッケル化合物	3.3	2.6	25以下

平成30年度ダイオキシン類調査結果について

ダイオキシン類対策特別措置法第26条の規定に基づき平成30年度の環境調査を実施したので、その結果を報告する。

1 環境大気

八戸市内2地点（八戸小学校・根岸小学校）において測定を4回実施した。測定結果は両地点とも環境基準を達成している。

○大気

調査地点	調査結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準
	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	年平均値	
八戸小学校	0.0012	0.0081	0.0012	0.0078	0.0010	年平均0.6以下
根岸小学校	0.016	0.011	0.0010	0.0079	0.011	

※環境大気の採取方法は100L/min程度の中流速で7日間の連続採取である。

2 公共用水域・地下水

公共用水域水質5地点、公共用水域底質1地点、地下水1地点において測定を1回実施した。測定結果はいずれも環境基準を達成している。

○公共用水域

水域	調査地点	公共用水域水質 (pg-TEQ/L)		公共用水域底質 (pg-TEQ/g)	
		調査結果	環境基準	調査結果	環境基準
五戸川	尻引橋	0.44	1以下	—	150以下
新井田川	長館橋	—		0.15	
新井田川	湊橋	0.057		—	
浅水川	なかの橋	0.37		—	
八戸前面海域	St. 4 鮫・白銀前面	0.076		—	
	St. 9 北沼前面	0.041		—	

○地下水

調査地点	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準
妙	0.037	1以下

3 土壌

土壌2地点において測定を1回実施した。測定結果は環境基準を達成している。

○土壌

調査地点	調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準
類家	0.69	1000以下
北インター工業団地	3.4	

※ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナ - ポリ塩化ビフェニル(Co - PCB)の総和である。

※測定結果は毒性等量 (TEQ) で示す。

八戸駅西地区賑わい創出イベントについて

1. 趣旨

八戸駅西地区において、本年3月に西口駅前広場やシンボルロードが完成し、また、「集ゾーン」においては、多目的アリーナが整備中で来年春に開業予定である。

これらのことから、八戸駅西地区ではスポーツと連携したまちづくり「スマート・スポーツシティ」を推進するため、市制施行90周年記念事業として賑わい創出イベントを実施するものである。

2. イベント内容

3人制バスケットボール「3X3 (スリー エックス スリー)」のトップリーグの大会

※「3X3」とは、3人制バスケットボールに国際バスケットボール連盟（FIBA）が世界統一競技ルールを設け、正式競技種目として世界中で拡大しているスポーツ。東京2020五輪の正式種目に決定。

トップリーグの「3x3.EXE PREMIER 2019」は、北日本、関東北、関東南、中部、関西、西日本のカンファレンスで構成されており、八戸市をホームとする「八戸DIME」は、今年度から北日本カンファレンスに所属している。

3. 大会概要

名称：「3x3.EXE PREMIER 2019 北日本／関東北 Conference Round.7

八戸市市制施行90周年記念DAY」

日程：2019年8月17日（土）

会場：八戸駅西口駅前広場（バス・タクシープール）別紙のとおり
（雨天時：八戸西高校体育館）

承認：国際バスケットボール連盟（FIBA）

公認：公益財団法人日本バスケットボール協会（JBA）

4. タイムスケジュール（案）

・8月16日（金）設営

・8月17日（土）本番

10:20～10:50 ウォーミングアップ

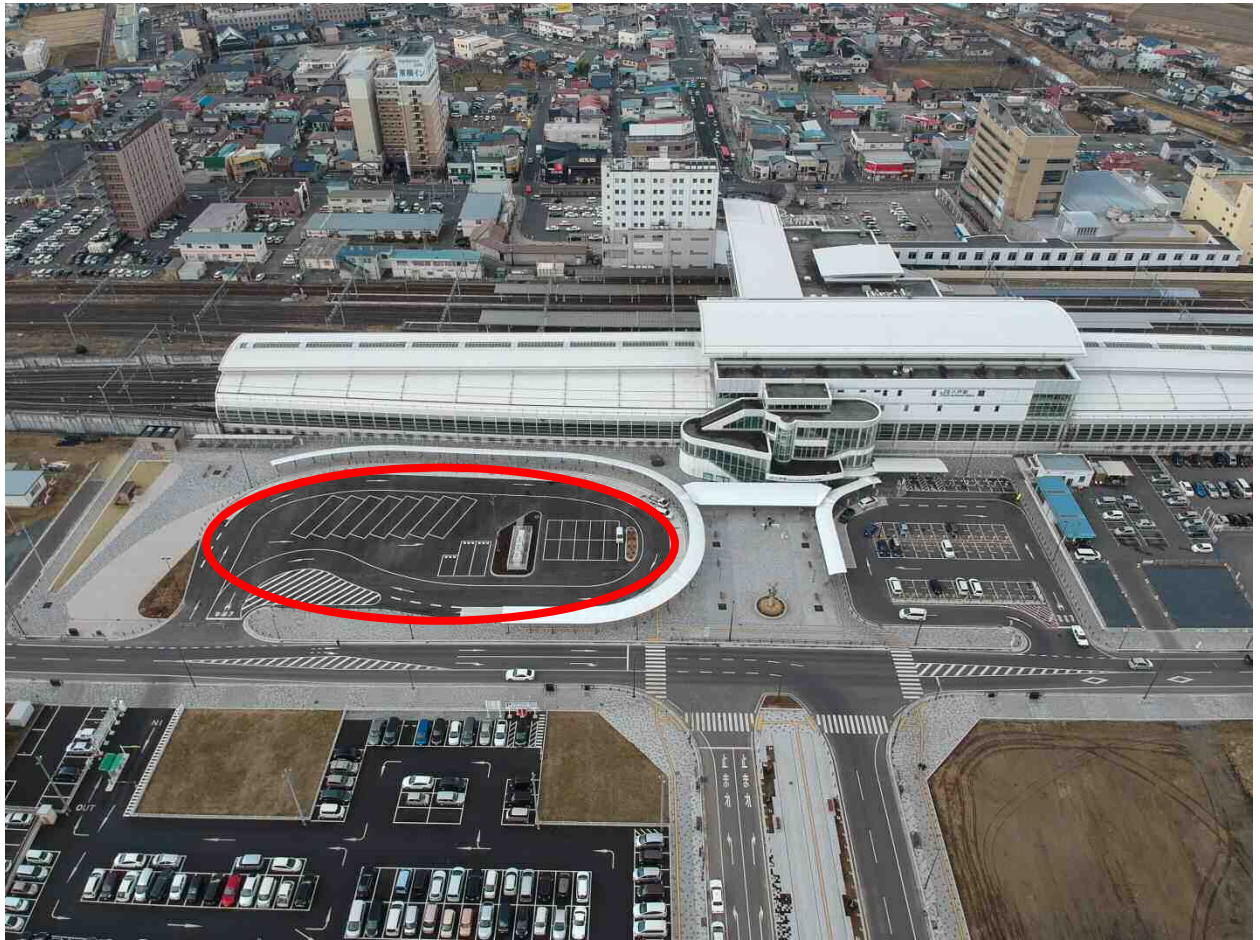
10:50～11:30 アクティビティ

11:30～15:00 北日本と関東北の（下位4位～6位）の6チームによる
予選6試合+決勝トーナメント3試合 計9試合

15:00～15:30 ウォーミングアップ

15:30～19:00 北日本と関東北の（上位1位～3位）の6チームによる
予選6試合+決勝トーナメント3試合 計9試合

大会会場（八戸駅西口駅前広場 バス・タクシープール 赤囲み）



試合会場の様子



オリオンスクエア(栃木県宇都宮市)

八戸市危険ブロック塀等安全対策支援事業の概要について

1. 事業の目的

地震時におけるブロック塀等の倒壊による事故の発生及び避難経路の閉塞を未然に防止する。

2. 事業の内容

八戸市地域防災計画に記載の津波避難路（以下「避難路」という。）に面する危険なブロック塀等の耐震化を図るために行う、耐震改修、建替え又は除却工事に要する経費に対し、補助金を交付する。

3. 補助対象塀

次に掲げる要件のいずれにも該当するものとする。

- (1) 避難路沿道に存するもの。
- (2) 専門家又は耐震改修工事等の施工業者による耐震診断[※]の結果、不適合な項目があり、倒壊の危険性があると判断されたもの。
- (3) 道路面からの高さが1 m以上であるもの。
- (4) 建築基準法第9条の規定に基づく命令を受けていないもの。

※「ブロック塀等の点検のチェックポイント」(平成30年6月21日付け国住指第1130号国土交通省建築指導課長通知)を用いて、ブロック塀等の安全性を点検すること。

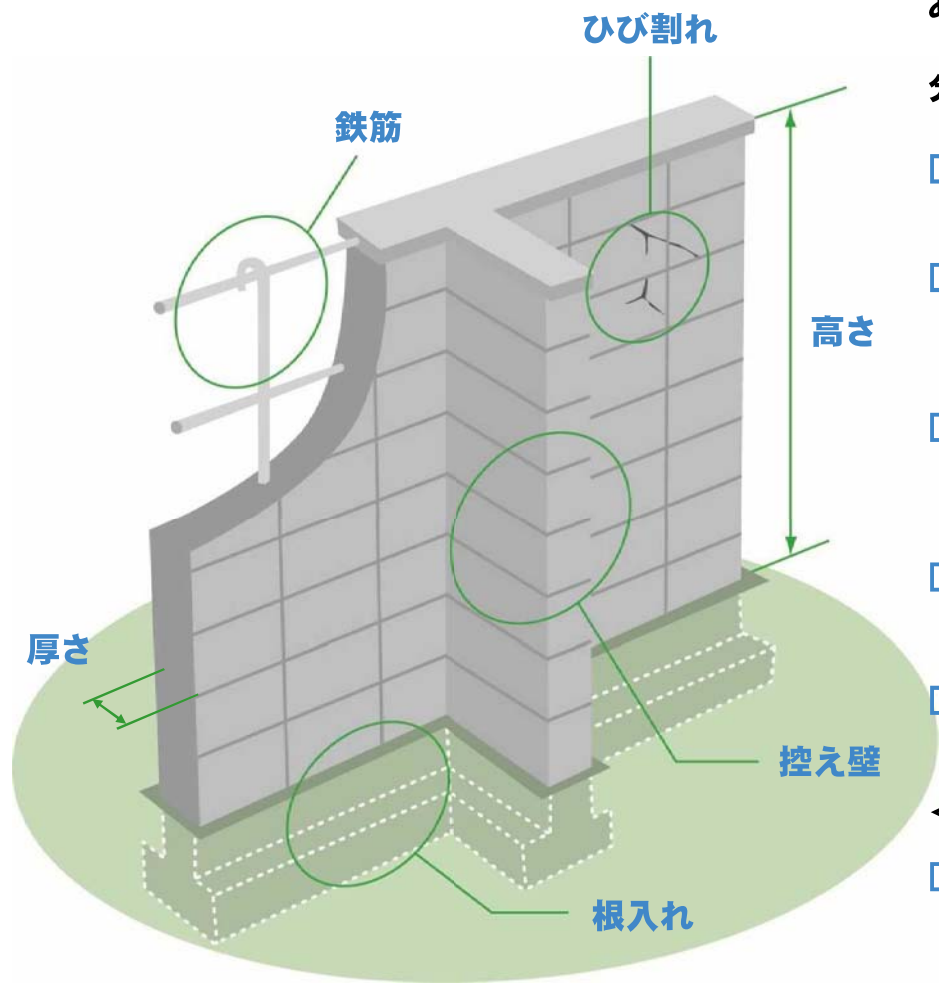
4. 補助金の額

次に掲げる額のいずれか低い額に2/3を乗じた額とし、100,000円を上限とする。

- (1) 耐震改修工事等に要する費用の額
- (2) 1 m当たり10,000円を補助対象塀の総延長に乗じた額

5. 募集件数及び事業開始日

- 募集件数 : 10件程度
事業開始 : 令和元年8月1日から



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。
 まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
 - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
 - 2. 塀の厚さは十分か
 - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
 - 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
 - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
 - 4. 基礎があるか
 - ・コンクリートの基礎があるか。
 - 5. 塀は健全か
 - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
- <専門家に相談しましょう>
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
 - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013. 1 より一部改